

**令和元年度
教育委員会点検・評価報告書**

～平成30年度活動実績～

令和2年2月

四万十市教育委員会

点検及び評価の概要

平成20年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正において、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行うことが義務付けられました。

この教育委員会の点検・評価については、教育委員会の効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会自らが、①毎年、②教育長及び事務局の事務執行を含む教育委員会の事務の管理執行の状況について、③教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図りつつ、点検・評価を行うこととし、④その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

この法律に基づき、平成30年度の教育委員会活動の取組み実績について、自己点検・評価を行うこととし、また、評価内容の客観性を確保するため、教育に関する学識経験者のご意見を頂き、「令和元年度教育委員会点検・評価報告書(平成30年度実績)」としてまとめ、公表することとしました。

四万十市教育委員会では、これまでに学校教育の充実、教育改革の定着と推進、生涯学習の充実と推進、青少年の健全育成、人権教育の推進、芸術・文化・スポーツの振興などに取り組んできました。

この度の教育委員会の点検・評価制度の実施により、教育委員会自らが事後にその成果や課題を再確認することで、今後の施策改善に反映させるとともに、目指すべき方向について、より具体的で効果的な教育行政の推進を図ることとしています。

令和2年2月

四 万 十 市 教 育 委 員 会

令和元年度（平成30年度対象） 四万十市教育委員会 評価シート

1 自己点検・評価

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議	①開催状況	・ 定例会を会議規則で定めたとおり毎月1回開催、臨時会を7回開催した。	4
		②運営上の工夫	・ 議案、資料を事前に配布し、情報交換を行えるよう努めた。 ・ 教育委員会前後等の時間を利用し、協議や報告事項の確認を行った。	4
	(2) 教育委員会と事務局との連携		・ 適宜、協議を行うなど情報交換、意見交換を行った。より一層の連携を図るために資料収集、情報交換に努めた。	4
	(3) 教育委員の自己研鑽		・ 県教委並びに幡多地教連主催の合同研修会等に積極的に参加し、当市の教育行政に反映できるよう自己研鑽に努めた。	3
	(4) 支援・条件整備	① 学校訪問・支援	・ 7月から10月にかけて25校（小学校14校、中学校11校）の学校を訪問し、学校の状況把握並びに意見交換を行った。	4
		② 所管施設訪問・支援	・ 小中学校の卒業式、運動会に出席し、祝辞等を行った。 ・ 各委員が必要に応じて所管施設等の訪問を行い意見交換を行った。	3
		③ 広報・情報公開	・ 市広報に市教委だより等を掲載し、市教委の取り組み状況等を周知した。	4
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 教育行政の基本的な方針に関すること		・ 平成30年度教育行政方針を策定した。 ・ 中村地域の小学校区単位で地区説明会（13会場）等を開催し、保護者・地域住民の意見等を踏まえて四万十市立小・中学校再編計画（第2次）を策定した。	4
	(2) 教育委員会規則等の制定又は改廃に関すること		<制定> ・ 四万十市立働く婦人の家条例施行規則 ・ 四万十市立スケートパーク使用規則 ・ 四万十市人権教育推進員設置規則 ・ 四万十市部活動指導員設置に関する規則 <一部改正> ・ 四万十市立安並運動公園体育施設の管理運営規則 ・ 四万十市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例施行規則 ・ 四万十市立郷土資料館の設置及び管理に関する条例施行規則 ・ 四万十市教育委員会職員の職名に関する規則等 ・ 四万十市教育委員会事務執行基本規程 ・ 四万十市教育委員会文書管理規程	4

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
2 教育委員会が管理・執行する事務	(3) 学校その他の教育機関の設置及び廃止等に関すること		<p><用途廃止></p> <ul style="list-style-type: none"> ・後川中学校用地の一部 	4
	(4) 職員の任免その他の人事に関すること		<ul style="list-style-type: none"> ・教育長職務代理者の選任並びに事務局各所属における適切な任命等による人事配置が行われた。 ・非常勤特別職員の委嘱及び任命 	4
	(5) 議会の議決を経るべき議案の原案決定に関すること		<p><教育予算の見積もり決定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局各課の予算についての確認 	4
	(6) その他教育委員会が管理・執行する事務		<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度(平成29年度活動実績)教育委員会点検・評価報告書の策定 	3

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
<p style="text-align: center;">3 管理・執行を教育長に委任する事務</p>	<p style="text-align: center;">(1) 学校教育に関すること</p>	<p style="text-align: center;">①学校再編の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十市立小中学校再編計画検討委員会からの答申を受け、中村地域13 小学校区において地区説明会を開催し、また保護者アンケートの実施、PTA や地区住民との協議等を経て、平成31 年3月25 日付で「四万十市立小・中学校再編計画（第2次）」を策定した。 	4
		<p style="text-align: center;">②基礎学力の定着と学力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高知県教育版地域アクションプラン等を活用し、市内の小中学校を四万十市の教育改善に向け「四万十市一校一役教育研究」として研究推進校の指定をし、学校長のリーダーシップによる授業改善に向けた取り組みや特色ある教育活動の推進と学力向上など学校の主体的、自立的な取り組みを支援し、学校力・授業力の向上を図った。 「全国学力・学習状況調査」、「高知県学力定着状況調査」、「標準学力調査」を実施し、教科担当者会及び教育研究所・研究主事において分析した結果をもとに授業改善を行い、基礎学力の定着と学力向上に努めた。 ・ 各校において、帯タイムの活用や家庭学習の定着への取組を周知した。また、積極的に読書活動も推進した。 ・ 小学校3年生に国語辞典、中学校1年生に英和・和英辞典を一人一冊配布し、活用することにより基礎学力の定着を図った。 ・ 外国語指導助手（ALT）7名体制（中村地域6名、西土佐地域1名）で、小・中学校に派遣を行い英語教育の充実に努めた。 ・ 中学生の英語検定受験料を補助し、受験機会の拡大を図り、生徒の英語力及び学習意欲の向上に努めた。 ・ 放課後学習支援員を配置（中村地域7校）し、基礎学力の定着に努めた。 ・ 学校図書館支援員を配置（6校）し、学校図書館の充実及び読書活動を推進した。 ・ 西部教育事務所と連携をとり、支援派遣を行うことで、校内研究の充実及び支援に努めた。 	4

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
		③生徒指導上の問題への対応	<p><不登校対策></p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ・不登校等生徒指導上の課題に対応するためスクールソーシャルワーカーを4名配置して、児童生徒、保護者の相談支援、校内体制の支援に努めた。 不登校児指導員4名体制で、学校と連携して不登校児の家庭での学習や教育支援センター（ふれあい学級）での学習の支援に努めた。西土佐地域にもふれあい学級を週2日開級した。 教育研究所を拠点に、教育相談を実施するためのアウトリーチ型スクールカウンセラーを配置した。 <p><いじめ防止対策></p> <ul style="list-style-type: none"> いじめやネット問題の解決に向けて、市立小中学校の児童・生徒会の代表者が集まり実践交流や協議を行うことを通し、いじめを容認しない人権意識を形成するとともに、全ての児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを推進することを目的として、3回目のいじめストップ四万十子どもサミットを開催した。 児童生徒支援員を配置（3校）し、不登校傾向の児童生徒や、居心地の良い学級づくりのサポートを行った。 <p><少年補導センター業務></p> <ul style="list-style-type: none"> 有害環境の浄化の推進や青少年の問題行動の未然防止を図るため、補導教員及び補導相談員による登下校時の通学路や商業施設の巡回を行い、また補導協力員とともに祭事における合同補導（年4回）を実施した。 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		④特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育学校コーディネーターの研修を年間2回実施し、コーディネーターを育成し、各学校の特別支援教育の理解と充実を図っている。特に、環境整備と配慮が必要な児童生徒への支援に力を入れた。 特別支援学級に入級している児童生徒が複数いる学校を中心に特別支援教育支援員（10校）を配置し、配慮が必要な児童生徒に支援を行った。 県が主催する巡回相談やサポート事業の積極的活用を進め、児童相談所や福祉事務所などの関係機関と連携するなど、支援会や教育相談の充実に努めた。 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
3 管理・執行を教育長に委任する事務	(1) 学校教育に関すること	⑤学校安全の推進と充実	<p><環境整備></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校敷地内コンクリートブロック塀撤去 (小学校7校 中学校4校 休校4校) <p><学校安全></p> <ul style="list-style-type: none"> 通学路安全プログラムに基づき、通学路上の危険箇所8箇所について、関係機関による合同点検を行った。また、前年以前の危険箇所を含め、11箇所について対策を実施した。 スクールガードリーダー5名を配置し、児童生徒の登下校の安全確保に努めた。 小学校新1年生全員に防犯ブザーを配布し、児童の安全確保に配慮した。 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		⑥学校給食の充実	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校完全給食継続 (平成28年4月から中村地域中学校給食開始による) 食材価格の高騰による食材購入費の不足に対応し、適正な学校給食を提供するため、平成29年4月より学校給食費を改定(引き上げ)した。 学校給食センター(スクールミールひがしやま・なかむらみなみ・ぐどう・にしとさ)調理及び配送業務委託の締結(H31.4.1~H34.3.31) 給食食材の地産地消の推進 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		⑦その他学校教育に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 各種教育研究大会の開催 高知県山の学習支援事業(6校) 中学校体育大会出場補助(6校) 学校支援地域本部事業(5中学校区) 長期宿泊体験活動推進事業(3校) 西土佐分校への支援 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	3

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
3 管理・執行を教育長に委任する事務	(2) 生涯学習に関すること	①芸術文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・第37回市民大学の開催 (7/22～9/4) ・高知大学出前公開講座in四万十市 (10/1～12/11) ・第14回文化祭の開催 (10/1～11/30) ・第60回美術展の開催 (11/19～25) ・まんが文化振興事業 (6月～3月) ・シルバー教室の開催 8講座 ・中国語講座の実施 (6月～2月毎週月曜日) ・四万十川国際音楽祭2018の開催 (7月～12月) ・四万十川こども演劇祭2018の開催 (5/26 フェスティバル公演開催) ・ふれあいホール自主事業の実施 5回 ・子ども読書活動の推進 ・ブックスタートの実施 ・図書館利用率の引き上げ ・郷土博物館企画展開催 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		②青少年健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成四万十市民会議への支援 ・青少年育成西土佐会議への支援 ・家庭教育支援基盤形成事業の実施 3講座 ・第14回四万十市成人式の開催 (1/3) <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	3
		③社会教育関係団体及び施設の管理と運営	<ul style="list-style-type: none"> ・四万十市連合婦人会活動への支援 ・西土佐体育協会への支援 ・西土佐地区人権教育研究協議会への支援 ・分館活動への支援 (12分館) ・婦人・高齢者学級委託事業 6学級開催 ・四万十楽舎生涯学習委託事業 ・人権啓発事業の実施 12分館地区別学習会 人権フェスティバル ・西土佐ふれあいホールの管理運営 ・指定管理者 (文化センター、玉姫さくら館他) の運営継続 ・指定管理者 (図書館) による運営継続 ・社会教育施設の管理運営 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		④文化財の保護活用	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財試掘調査・遺物整理 ・四万十川の文化的景観保全 整備活用計画作成 くろそん手帖活用 黒尊川生態調査 ・文化財保護・指定・管理 ・小学校出前事業の実施 	4

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
		⑤社会体育施設の管理と運営	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者（安並運動公園体育施設等）の運営継続 利用人数149,525人 市民スポーツセンター長寿命化工事 市立温水プールボイラー改修工事 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		⑥社会体育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 四万十川ウルトラマラソンの開催(10/21) 2,341人 四万十川リバーサイドフルウォークの開催(4/7～4/8) 335人 スポーツ推進委員(23人)の研修の実施 いきいきクラブの開催(5月～3月) 32回 1,396人 スポーツ教室の開催(テニス教室20回 224人・シュノーケリング教室 23人・スポレクチャレンジフェスタ2回 63人・親子スポーツ健康教室 6/2～6/23 90人) 新体力テスト実施 70人 第14回市民総合体育祭 25団体 1,466人(9/1～12/8) 市民ハイキング(3回 116人) 第50回読売中村ロードレース(12/23) 371人 第14回市スポーツ賞の表彰(3/3)(個人30、団体7) 学校開放事業 32施設 40,962人 第28回西土佐駅伝大会 15チーム 111人 第53回分館対抗バレー大会 10チーム 92人 スカッシュバレー大会 17チーム 89人 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		⑦その他生涯学習に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育推進講座 4回 人権教育研究大会 442名 働く婦人の家講座 89回 841人 男女共同参画社会推進事業講座 13回132人 働く婦人の家まつり 舞台部門 18団体 作品展 15団体 スポーツ部門 6団体 社会教育委員会・公民館運営審議会 4回 文化財保護審議会 1回 四万十市スポーツ推進委員会 2回 中村・西土佐部会 9回 図書館協議会 2回 博物館運営協議会 3回 子ども読書活動推進委員会 1回 西土佐ふれあいホール運営委員会 2回 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	3

《評価の目安》

評価ポイント	評価の目安
4	達成しているといえるもの
3	概ね達成しているといえるもの
2	あまり達成しているとはいえないもの
1	達成しているといえないもの

2 自己点検・評価に対する意見（学識経験者の知見）

評価者名	大林 郁 男
<p>令和元年度教育委員会の自己点検・評価については概ね妥当なものと判断します。</p> <p>(1) 学校教育に関すること</p> <p>大項目 [3. 管理執行を教育長に委任する事務] の中項目 (1) 学校教育に関すること には、① 学校再編の推進が小項目として立てられ、市立小中学校再編について 13 地区での説明会開催、保護者アンケートの実施、関係者協議を経ての再編計画 (第 2 次) の策定との記述がありました。具体的な取り組みにおいて一部に難航も推測される記述でしたが、資料からみると的確な対応がされているものと感じます。子供たちにとって今後の重要事項ですので、引き続き細心の注意のうえ、再編後の学校づくりを含め、継続的な取り組みを要望します。</p> <p>② 基礎学力の定着と学力の向上においての、ALT の配置充実や学校図書館支援員配置 (6 校) なども評価します。その他として③ 生徒指導上の問題への対応、④ 特別支援教育の充実、⑤ 学校安全の推進と充実などが項目として再編整理されたこと、またその中で、いじめストップ四万十子どもサミットが継続開催、児童生徒支援員の配置、学校敷地内ブロック塀撤去など地道な取り組みが続いていることを評価したいと思います。</p> <p>(2) 生涯学習に関すること</p> <p>生涯学習に関することについては、連年的な取り組みは無難にこなし、スポーツセンター長寿化工事などがあり自己評価点は妥当と考えますが、新規 (発展) 的な取り組みが目立たない印象です。現在、生涯学習関連の施設再編が急ピッチで進められていますので、今後はこちらの評価項目のウェートを増やしていったらどうでしょうか。</p> <p>今後も教育委員会の取り組みが充実しより良い成果が得られるよう積極的に取り組みされることを要望しておきます。</p>	

評価者名	阿 部 統 洋
<p>令和元年度 (平成30年度活動実績対象) 四万十市教育委員会の自己点検、評価について概ね妥当であると判断します。</p> <p>○ 本年度の自己点検、評価報告書について</p> <p>本年度から報告書の中で (学校教育に関すること) の内容が分類、再編され、あらたな小項目に細分化して取り組みの概要がより詳しく分かりやすくなっており教育委員会自らが自己評価を行うこの制度をより積極的に活用しようとする姿勢が感じられます。またその小項目の学校再編の所で、昨年度まではなかった推進という言葉が明記されており、望ましい教育環境をつくるための強い意思がうかがえ評価出来ます。</p> <p>○ 学校再編について</p> <p>平成29年度に再編検討委員会から答申を受け、中村地域での地区説明会、アンケート調査、協議等を経て第2次再編計画が決定されました。地区説明会は13小学校区で35回実施しており、計画の策定に向けた熱心な取り組みのようすが分かります。</p> <p>今回の計画では主に中学校について具体的なものとなっており、小学校は配置計画のみで実施時期は定めず当面存続という内容です。過去5年間の小学校児童数及び学級数を見ますと、ほぼ同じ6校に複式学級が存在し解消されていない状況が続いています。その解決方法が再編だけでは限らないのかもしれませんが、早急な対策が望まれます。</p> <p>○ 学校安全の推進と充実について</p> <p>学校敷地内危険ブロック塀撤去が休校4校を含む11小学校4中学校で実施され、地震等災害による事故防止策が出来ていますし、通学路の危険箇所の点検対策も含め、安全確保の観点から評価</p>	

出来ます。

報告書に記載はありませんが市内でも時々、不審者情報を聞く事があります。登下校時にスクールガードリーダー5名配置や新1年生全員への防犯ブザー配布などは、危険から自分を守る意識を持つための取り組みとして大変役立っているものと考えます。

○郷土博物館について

平成29年度に躯体改修工事を行い一部オープンしていた郷土資料館が、平成31年2月1日に郷土博物館という名称でリニューアルオープンしました。その後の入館者数も順調に伸びており、地域の歴史文化を調査研究し発信する拠点施設として期待が高く、今後の施設運営に注目するところです。

さて、この施設は市中心部近くの高台で非常に閑静な所にあり、その環境はとても素晴らしいと思いますが、反面、場所が分かりにくいという難点があります。地域外からの観光者にも目につき確認しやすい看板の設置等PRにも力を入れ、更なる利用者増に繋げてほしいと考えます。

